＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	佐賀松浦の家
グループの名称	佐賀県建設産業協会
直近採択グループ番号	06-0347-0738

（グループ代表者）

代表者名	松岡　與志弘	代表者印
代表者所属先	株式会社松岡工ム店	
代表者所在地	佐賀県唐津市久里1384	
代表者電話番号	0955-78-0074	

（グループ事務局）

事務局事業者名	中村哲建築設計事務所	
事務局担当者名	中村　哲	印
事務局郵便番号	847-0133	
事務局所在地	佐賀県唐津市湊町373-1	
事務局電話番号	0955-79-0638	
事務局FAX	0955-79-0800	
事務局担当者E-mail	nakamura@nakamura-kenchiku.jp	

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	佐賀松浦の家
２．グループの名称(必須)	佐賀県建設産業協会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0347-0738
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	佐賀県、福岡県、長崎県
５．結成年(必須)	1963　年
６．グループ代表者名(必須)	松岡　與志弘
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社松岡エム店
８．グループ代表者所在地(必須)	佐賀県唐津市久里1384
９．グループ代表者電話番号(必須)	0955-78-0074
１０．グループ事務局事業者名(必須)	中村哲建築設計事務所
１１．グループ事務局担当者名(必須)	中村　哲
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	847-0133
１３．グループ事務局所在地(必須)	佐賀県唐津市湊町373-1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	0955-79-0638
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	0955-79-0800
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	nakamura@nakamura-kenchiku.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	6	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	8	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	8	
Ⅳ．プレカット	4	
Ⅴ．設計	7	
Ⅵ．施工	9	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	4	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	□　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	佐賀県産乾燥木材	佐賀県	佐賀県産乾燥木材認証制度	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		22	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	8	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	2	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		7	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	2	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		4	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	1	棟	
			150	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	各補助事業に参加を希望する工務店全社に、最低一戸を配分し、その上で、これまで長期優良住宅への取組実績が少ない工務店又は、未経験工務店に、優先的に配分する。□

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	0	戸
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	2	戸
	優良建築物型								
	採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績（竣工予定含む）棟数	0	戸
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
41	Ⅰ － 1	株式会社 伊万里木材市場		849-4252	佐賀県伊万里市山代町楠久津145-30	0955-20-2183
41	Ⅰ － 2	協同組合 唐津木材市場		847-0031	佐賀県唐津市原1569-1	0955-77-1107
41	Ⅰ － 3	佐賀木材 株式会社		840-0214	佐賀県佐賀市大和町川上2624	0952-62-5125
44	Ⅰ － 4	佐伯広域森林組合		879-3302	大分県佐伯市宇目南田原283番地2	0972-54-3326
41	Ⅰ － 5	富士大和森林組合		840-0501	佐賀県佐賀市富士町古湯2794	0952-58-2031
43	Ⅰ － 42	肥後木材株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2986番地11	096-389-0022
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －				

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
44	Ⅱ － 4	佐伯広域森林組合		879-3302	大分県佐伯市宇目南田原283番地2	0972-54-3326
41	Ⅱ － 5	富士大和森林組合		840-0501	佐賀県佐賀市富士町古湯2794	0952-58-2031
41	Ⅱ － 6	西九州木材事業協同組合		849-4252	佐賀県伊万里市山代町楠久津145-36	0955-20-2010
34	Ⅱ － 7	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
41	Ⅱ － 8	株式会社 栗原木材店		847-0031	佐賀県唐津市原1360-1	0955-77-0221
40	Ⅱ － 12	黒田木材商事 株式会社		811-2112	福岡県糟屋郡須恵町植木2047-73	092-936-5505
41	Ⅱ － 24	岩忠建設株式会社		849-4153	佐賀県西松浦郡有田町立部乙２２３８－１	0955-46-2426
43	Ⅱ － 44	松本木材株式会社		864-0057	熊本県荒尾市大島688-1	0968-63-0001
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －				

＜様式 2-2・Ⅲ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
41	Ⅲ － 5	富士大和森林組合		840-0501	佐賀県佐賀市富士町古湯2794	0952-58-2031
34	Ⅲ － 7	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
41	Ⅲ － 8	株式会社 栗原木材店		847-0031	佐賀県唐津市原1360-1	0955-77-0221
41	Ⅲ － 9	株式会社 フレックス唐津		847-0124	佐賀県唐津市浦6410	0955-74-5500
43	Ⅲ － 10	原田木材 株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2985-1	096-380-7531
41	Ⅲ － 11	福井木材 株式会社		847-0081	佐賀県唐津市和多田南先石1-29	0955-73-2111
21	Ⅲ － 35	ジブンハウスマテリアル株式会社		501-6019	岐阜県羽島郡岐南町みやまち1-3	058-213-0222
41	Ⅲ － 37	金新産業株式会社		848-0027	佐賀県伊万里市立花町浦山1000番105	0955-23-3600
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
43	Ⅳ － 10	原田木材　株式会社		861-8012	熊本県熊本市東区平山町2985-1	096-380-7531
41	Ⅳ － 11	福井木材　株式会社		847-0081	佐賀県唐津市和多田南先石1-29	0955-73-2111
41	Ⅳ － 13	中国木材　株式会社　伊万里事業所		849-4251	佐賀県伊万里市山代町楠久字鳴石搦三929-93	0955-20-2235
42	Ⅳ － 14	佐世保木材　協同組合		857-1171	長崎県佐世保市沖新町2-18	0956-33-1973
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜様式 2-2・Ｖ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ｖ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ｖ．設計							○	○
41	Ｖ － 15	むらやま建築設計事務所		847-0017	佐賀県唐津市東唐津4丁目7番12―2号	0955-74-3055	○	
41	Ｖ － 16	岩忠建設株式会社 建築設計事務所		849-4153	佐賀県西松浦郡有田町立部乙2238-1	0955-46-2426	○	
41	Ｖ － 17	蒼空間設計事務所		847-0033	佐賀県唐津市久里1384	0955-78-0074	○	
40	Ｖ － 18	大庭建設株式会社 一級建築士事務所		818-0115	福岡県太宰府市内山653-2	092-922-6822	○	
41	Ｖ － 19	中川建築設計事務所		847-0824	佐賀県唐津市神田1832-4	0955-79-7808	○	
41	Ｖ － 20	中村哲建築設計事務所		847-0133	佐賀県唐津市湊町895-1	0955-79-0638	○	
41	Ｖ － 21	有限会社 福山建築		849-3113	佐賀県唐津市厳木町牧瀬１１７－１６６	0955-63-3357	○	
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							
	Ｖ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							9	○	○
41	Ⅵ - 21	80159	有限会社 福山建築		849-3113	佐賀県唐津市厳木町牧瀬117－166	0955-63-3357	○	
41	Ⅵ - 23	80097	株式会社中村建築		847-0133	佐賀県唐津市湊町895－1	0955-79-0638	○	
41	Ⅵ - 24	80103	岩忠建設株式会社		849-4153	佐賀県西松浦郡有田町立部乙2238－1	0955-46-2426	○	
41	Ⅵ - 25	80044	クリエイトホーム 株式会社		847-0017	佐賀県唐津市東唐津四丁目7番12―2号	0955-74-3055	○	
41	Ⅵ - 26	80058	株式会社 コンド―住設		847-0022	佐賀県唐津市鏡4415	0955-77-4848	○	
40	Ⅵ - 27	79842	吉岡建設		849-5131	福岡県唐津市浜玉町浜崎313－4	0955-56-8263		○
41	Ⅵ - 28	80132	大庭建設 株式会社		818-0115	佐賀県太宰府市内山653－2	092-922-6822	○	
41	Ⅵ - 29		株式会社 住まいのかたち		847-0821	佐賀県唐津市町田3-11-45	0955-88-9061		○
41	Ⅵ - 30	80096	株式会社松岡エム店		847-0033	佐賀県唐津市久里1384番地	0955-78-0074	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
41	Ⅵ － 21	80159	有限会社 福山建築	4 戸	4 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
41	Ⅵ － 23	80097	株式会社中村建築	2 戸	2 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	4以上		○	○
41	Ⅵ － 24	80103	岩忠建設株式会社	5 戸	7 戸	0 戸	0 戸	1 戸	2 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	○
41	Ⅵ － 25	80044	クリエイトホーム 株式会社	3 戸	3 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	1 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
41	Ⅵ － 26	80058	株式会社 コンドー住設	0 戸	1 戸	0 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
40	Ⅵ － 27	79842	吉岡建設	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
41	Ⅵ － 28	80132	大庭建設 株式会社	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
41	Ⅵ － 29		株式会社 住まいのかたち	15 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
41	Ⅵ － 30	80096	株式会社松岡エム店	2 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	○
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
41	Ⅶ － 22	梅田産業 株式会社		847-0022	佐賀県唐津市鏡2545-1	0955-77-1371
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
13	Ⅷ － 31	一般社団法人 全国木造建設事業協会		104-0032	東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階	03-5540-6678
13	Ⅷ － 32	一般社団法人JBN・全国工務店協会		104-0032	東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階	03-5540-6678
27	Ⅷ － 33	報国エンジニアリング 株式会社		561-0827	大阪府豊中市大黒町3-5-26	06-6336-0228
41	Ⅷ － 34	中島製瓦 株式会社		847-0321	佐賀県唐津市鎮西町横竹812-3	0955-82-4740
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－１＞

１．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称）佐賀松浦の家	（地域型住宅供給対象地域）佐賀県、福岡県、長崎県
２．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称）佐賀県建設産業協会	（結成年）1963　年
３．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0347-0738	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○長期優良住宅の認定（地震と台風に強い家,耐震等級２以上を確保） ○夏場の日差しに配慮し、遮熱性能のサッシを基本として使用する	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○「H28年省エネ基準」の仕様を満たした温暖化型住宅 ○県産材をあらわしとして、ふんだんに利用した木の温もりを感じる家 ○地元大工職人の技術を活かし、技術の継承を図る	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○「佐賀松浦の家」の市場認知度向上に向けた取り組みを行い和の住まいの推進に関する取組みを行う ○地場素材の活用（地場素材を可能な限り採用する）	○
④ ①～③の背景	○多くの山や川に恵まれた自然豊かな土地、台風の通り道で、数年ごとに災害が発生している ○主な森林資源は杉人工林、寒冷な気候の下で生育した県産杉は、他地域に比べ目が詰まっており粘り強く肌触りがよい ○佐賀城・唐津城があり城下町の風情を残している。景観条例が都市計画で施工されている ○市街地周辺部には、和風住宅が多く、昔ながらの街並みが多く残ってる	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○省令準対火構造又は、耐震等級3とする　○ 2020年省エネ基準義務化に向け研修会を行う	◎

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：土台は桧とし105×105以上、柱は杉又は桧とし105角以上を使用	○
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：地域材については、主要構造材に1棟当り50%以上使用する	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：内装材（床、壁、天井）に地域材（九州材）を活用する事とし、10㎡以上の面積に使用する	○
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：佐賀県産木材を一括で購入するルールを作成する	○
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：佐賀県建設産業協会を事務局として調達事務の合理化を図る	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：木材・建材検討WGを設置し、グループとして地域型住宅に使用する木材の選定を行い、主に施工グループを対象とした木材の共同購入リストを作成し、事前に年間の使用量の割り出しを行う	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：標準見積書・木材明細書を元にグループ事務局がチェックリストで確認する JBN主催のセミナーや勉強会に参加を推奨する	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：JBN編集「木造住宅工事管理の実務」に沿った施工基準を実施する	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：JBN編集「木造住宅工事管理の実務」に掲載されている「木造住宅施工現場検査チェックシート」に従い、実施する	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：グループとしての「標準見積書」の作成と、積算手法の標準化の取組み。それによる、消費者への住宅コストの見える化と適正な価格の提示	○
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：「標準見積書」を使用して消費者への提示・説明の義務化	○
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：定期的な連続休暇が取得できる工事とし誰もが働きやすい現場環境づくりを目指します（事務局として週休2日制の導入を後押しする）	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：技術者の資格や現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積する 建設キャリアアップシステムの今秋の稼動と加入を推進します	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：社会保険の加入を建設業を営む上でのミニマム・スタンダードにする	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：佐賀県建設産業協会と連係し、建設工事従事者が安全及び健康に関して、高い意識を持ち建設工事の現場の、安全を高める為の安全大会を開催する（年1回程度開催）	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	完成保証制度の確立			○工事	○

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）佐賀松浦の家	（地域型住宅供給対象地域）佐賀県、福岡県、長崎県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）佐賀県建設産業協会	（結成年）1963　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0347-0738	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： JBN維持管理計画書の提出と指定図書を住宅履歴情報として「いえもり・かるて」（情報サービス機関）に蓄積	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容： （一社）JBN，（一社）全国木造建設事業協会	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 指定期間（1年・3年・5年・10年・15年・20年・25年・30年）の点検の実績と完了報告の義務化	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： JBN維持管理計画書による	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： JBN住まい管理手帳（戸建て編）による	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 点検の実績と完了報告の義務化	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容： 引渡し時にJBN住まいの管理手帳を手渡して管理の仕方などについて説明する	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容： 各社イベント、現場見学会を利用しDYI体験会（木工教室等）を実施する	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容： 各社イベント開催時に資金計画等の相談会を開催する	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容： エグループで設置されている。地域の特性に起因する維持管理の方法について継続的に打ち合わせを行う	○
	⑤	その他の維持管理の手法	□ ない	■ ある →	内容： 長期優良化リフォーム事業の「現況検査チェックシート」を利用する	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容： グループ事務局内に「すまい相談窓口」の設置し、事故が発生した場合の対応の手引きを作成する又、事務局は以後のメンテナンス等に関して継承工務店を斡旋する	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容： JBN等が行う瑕疵や身近なトラブル事例等に関する研修会に参加する	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			地域型住宅１棟当たり１万円の積立てを行い、廃業時の調査費として使用し、消費者にメンテナンス引き受けに関する提案と説明を実施			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容： 設計・施工グループ構成員によるサポートや仕様説明会・施工・設計に関する勉強会等の計画を立て長期優良住宅の経験メンバーを中心として、施工現場での施工勉強会の実施　（年２回）	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容： 長期優良住宅認定又は設計性能評価を取得する	◎
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容： 上記書類を事務局に提出	◎
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容： 事務局を中心として、未経験構成員のサポートチームを作り提案から設計・施工までアドバイスが可能な体制を作る	◎
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容： 技術力向上のため「技術研究発表会」を開催する（年１回）	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容： 施主に向けて具体的に提案できるよう住まい手像を明確にした長期優良住宅プランを作成し、仕様や見積りの内容を共有する	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　8		今年度の参加目標人数　2	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　2		今年度の参加目標人数　2	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容： 省エネ技術講習会への参加を義務付け	◎
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容： 施工グループ中心としたグループを立上げ、「葉付乾燥」による天然乾燥を確立させる遮音シートの採用及び日射遮熱に係る新しい技術の導入に積極的に取り組む	○
	②	新たな技術等の開発	■ ない	□ ある →	内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

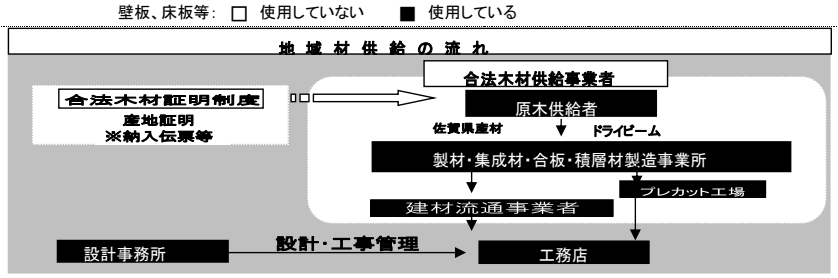
＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－3＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）佐賀松浦の家	（地域型住宅供給対象地域）佐賀県、福岡県、長崎県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）佐賀県建設産業協会	（結成年）1963 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0347-0738	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	主要構造材として、品質・性能・強度が明確に判断できる材を使用する事 地域材の供給が安定的に行え、住宅建築のコストの高騰を避ける事が出来る事 主要構造材（柱、梁、桁、土台）に地域材（九州産）を50%以上使用、仕上材及び下地材（二次部材）にも積極的に活用する。 *諸事情においては上記以外の地域材も可能とする。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：□ 使用していない　■ 使用している	
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明	 使用する地域材として、材のコスト・品質・強度・納期を考慮し主要構造材に関して、合法木材の使用を認める 長スパンにおいては、PEFC認証証明書が取得できれば認める	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：グループ事務局が地域材の供給グループ（原木供給・製材・集成材・合板・流通）による、地域材の出荷状況等の情報提供を行い全構成員が情報を共有できる体制をとる	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：グループ事務局が地域材の供給グループ（原木供給・製材・集成材・合板・流通）による、地域材価格の情報提供を行い全構成員が情報を共有できる体制をとる	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：グループ全体における地域材400㎥	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算）15枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数：200 坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）12枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算）8枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域で制作される陶器製洗面ボールや小物を意識した提案を行い、地域を意識した地域型住宅として、基本仕様に1ヶ所以上組み込む。	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：外観については町屋をイメージした軒のある瓦屋根を採用する	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：軒のある住宅が昔ながらの町屋の家が多いので軒のある瓦屋根を継承していく	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の特性として二世帯、三世帯での住まいは少なくない。親から子へ、子から孫へ継承が出来る家づくりとして可変性のある家づくりに取り組む	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域のガイドラインや市町村の計画を構成員同士で情報共有しながら町並み形成に反しないデザイン等を研究していく	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：佐賀市・唐津市等で景観計画が指定された地域ではそのルールを遵守するとともに、佐賀市や唐津市等の城下町では瓦屋根を採用する	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		職人不足が深刻になっている。グループとして求人活動を実施したり、若手職人の技術指導を構成員同士協力して活動する	○

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	被災地のグループとの交流を予定している（交流・情報交換）	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組	全県連JBNと連系し、熊本地震被害住宅復旧工事支援等に積極的に係わり、被災住宅の補修等のための相談制度に協力する。	◎

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）佐賀松浦の家	（地域型住宅供給対象地域）佐賀県、福岡県、長崎県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）佐賀県建設産業協会	（結成年）1963 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0347-0738	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

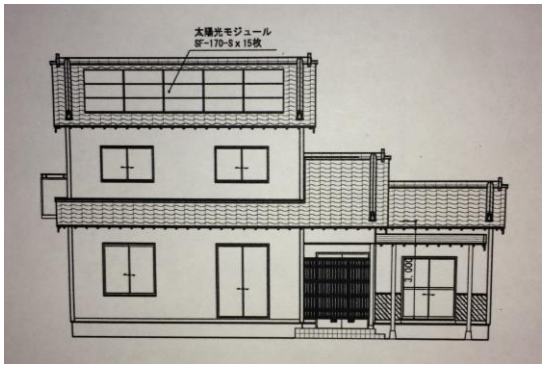
キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

住宅版ＢＥＬＳの☆3以上を取得する

住宅の高断熱化
（ＵＡ値0.6以下を推薦）

「ＢＥＬＳ」認証所得（グループ推奨）ゼロエネルギー住宅の場合は必須。

換気扇
比消費電力0.2W／㎥/ｈ）以下



住宅用太陽光発電システム
ゼロ・エネルギー住宅の場合は必須

白熱灯を使用しない

高効率給湯器を使用する

省令準耐火構造又は耐震等級3は適用除外とする

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。